

【会議録】

会議名	第3回港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和元年8月30日（金）13時10分から15時00分まで
開催場所	港区役所6階 相隣相談室
委員	<出席者> 5名 野澤委員長、富田副委員長、野口委員、瀧澤委員、佐藤委員 <欠席者> なし
事務局	街づくり支援部都市計画課都市計画係
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者による説明、デモンストレーション及びヒアリングの実施 （1）A事業者（25分間） （2）B事業者（25分間） 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	【事前配布資料】 資料1 第二次審査実施概要 資料2-1、2-2 第二次審査基準表（2事業者分） 資料3 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考委員会第二次審査における質問事項 資料4 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考 【第一次審査・第二次審査集計結果】 参考資料1 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考 【一次審査結果】 参考資料2 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者募集要項 参考資料3 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託提案要求仕様書 参考資料4 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 参考資料5 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者選考委員会委員名簿

会議の結果及び主要な発言

(発言者) 副委員長	1 開会 (開会の挨拶)
事務局 副委員長 C委員	2 第二次審査実施概要について (事務局より資料1、資料2-1、2-2、参考資料1を説明) ただいまの説明について、質問等がありますか。 参考資料1一次審査結果について、項番1「要求事項の評価」はA事業者、B事業者ともに同じ配点でしたか。差が出ていた記憶がありますが。
事務局 C委員	事務局 前回配布した資料では、項番1「要求事項の評価」と項番3「見積額の評価」を合計していましたが、今回は分けたことでこのようになっています。 C委員 一次審査における事務局採点では、項番1-(1)「体制及び要員」の項目において、主任技術者等の経歴等で差がついていましたが、今回、参考資料1に置き換えたとき、項番3「見積額の評価」ではなく、項番1「要求事項の評価」に入りませんか。
事務局 C委員	事務局 参考資料1の項番1-(1)「体制及び要員」で、配点110点に対して、A事業者が95点が5名で合計475点、B事業者が110点が5名で合計550点と差がついています。 C委員 A事業者のほうが高得点ですが、前回の事務局採点だとA事業者が低いところが多く、逆転しているところはなかったと思います。
事務局	事務局 A事業者は、参考資料1の項番1-(2)「システム機能要件」で225点と、B事業者202点に比べて高いです。B事業者のほうが高い箇所は、参考資料1の項番1-(1)「基本要件」、(3)「非機能要件」があり、項番1「要求事項の評価」はA事業者、B事業者同じ点数になっています。
A事業者 事務局 C委員	3 事業候補者による説明、デモンストレーション及びヒアリングの実施 (1) A事業者 (25分間) (A事業者による説明、デモンストレーション及びヒアリングの実施) A事業者のプレゼンテーションについて、質問をお願いします。 A事業者の豊富な実績に基づき、質問を2つします。1つ目が、他区市町村に提案した事例のなかで、行政サービスが向上する機能があれば教えてください。2つ目が、参考資料3「港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託提案要求仕様書」のまま実現した際に懸念される課題があれば教えてください。
A事業者	A事業者 1つ目の質問について、今回提案している窓口サービスが挙げられます。窓口端末と公開型GISでデータは同じものを見に行くために、双方にタイムラグが発生しないというメリットがあります。自治体によっては職員が窓口端末のデータを更新して、データセンターではA事業者がデータを更新します。職員の負担はなくなりますが、提供データ、公開データが2つとも正しいという前提ですので、正しくない場合、間違った情報が窓口にも、公開型GISにも双方に反映されてしまうというデメリットがあります。2つ目の質問について、懸念事項は特にありません。

B委員	データ更新について、A事業者は都市計画の告示日に実施ということですが、他の自治体で採用されている良い提案はありますか。
A事業者	基本的には都市計画の告示日にデータ更新をしますが、緊急を要する場合は迅速に対応します。データの修正からテストサイトの確認、本サイトへの登録を2、3日以内に緊急対応できるように整えています。
E委員	拡張性に関する質問です。色々な地図をコンテンツとして公開することができるのですが、区では、ハザードマップ等様々な画像ファイルやCADデータ等が多種多様な形式で作成されています。A事業者のシステムを採用した場合、これらのデータは公開可能でしょうか。また、その際のコストについて教えてください。
A事業者	A事業者では様々なデータの形式を扱っています。例えばCADデータはシェープファイルという形式に変換して公開した事例がたくさんあり、精度を担保したまま公開できます。
E委員	コストについて、一テーマ、概ね月額2万円くらいですか。
A事業者	はい、2万円ほどの費用で登録情報を追加することができます。現状、月額12万円ほどで提示していますが、例えば新しい主題図を追加する場合、2万円追加して月額14万円程度になります。ただし、データ形式がPDFの場合、システム上、重ね合わせて表示することが困難です。リンク先にPDFデータを置いて、そこをクリックすると当該地区のハザードマップが開く、といった方法で既存データを公開することになります。事例として江東区では、GISデータではない道路台帳を公開する際、ある地点をクリックすると該当するPDFや図面が開いて確認することができる設計にしています。
D委員	A事業者のサービスを導入している200の自治体のなかで、一番優れた機能を導入している自治体を教えてください。また、その機能のなかで、今回の区への提案で採用している機能、もしくは採用したいができない機能があれば教えてください。
A事業者	最新のものを導入しているのが仙台市、京都府、茨城県です。都市計画情報とは異なりますが、交通事故マップ、犯罪情報マップ等の英語版を公開しているのが警視庁です。それらのなかで今回実装できていない機能は特にありません。都市計画情報に限れば、距離計測等の正確な情報を出したくないという要望があります。また、描画の機能、ルート検索を使用不可にする要望も多くあります。例えば、先ほど話があがった台東区の場合、都市計画マップの距離計測、面積計測の機能を使用不可にし、背景図が案内地図と呼ばれるカラー地図のときは選択できず、地形図に戻すと選択できるようにしています。都市計画上、公開される都市計画情報とDM、地形図はセットとして捉え、このような規制・制限をかけているようです。
A委員	システムがダウンして使えなくなった経験はありますか。
A事業者	あります。昨年7月の西日本豪雨の際、完全にダウンしたわけではないですが、地図を表示するのに時間がかかる、見ることができない等のシステム障害が発生しました。
A委員	特殊な事例ですが、復旧までどれくらいの期間を要しましたか。
A事業者	1週間ほど続きました。土日はあまり影響がなく、月曜日から金曜日の平日に10時から17時まで繋がりにくい状態が発生し、夜間には解消しますが、18時や22

	<p>時に放送されるニュースが視聴者にハザードマップを見るように促すと、アクセスが急増し見づらくなる、という状況でした。通常、不具合が発生しても即座に障害を回避する体制が整っているため、港区に関しては、過去にサービスが停止したことはありません。</p>
A 委員	<p>現在、オープンデータにより、データを取り巻く状況が変化しつつあると思いますが、他の自治体での経験を踏まえ、課題や改善余地について教えてください。</p>
A 事業者	<p>行政に関する情報を公開する場合、公開するデータの信頼性が大切ですので、正確なデータを庁内で蓄積することが重要だと認識しています。</p>
事務局	<p>質問は以上とします。A事業者の審査はこれで終了です。</p>
	<p>(2) B事業者 (25 分間)</p>
B 事業者	<p>(B事業者による説明、デモンストレーション及びヒアリングの実施)</p>
事務局	<p>B事業者のプレゼンテーションについて、質問をお願いします。</p>
D 委員	<p>23 区での実績は分かりました。全国的な実績を教えてください。また、今回は用途地域図の事業者選定になりますが、今後、建築や位置指定道路等でシステムを導入した際、今回のシステムがどのように活用できるかを教えてください。例えば建築の概要書システムを活用したときに、先ほど説明のあったグーグルマップ等でも検索できるのか等についてです。</p>
B 事業者	<p>全国の実績は 60 件です。建築分野等他部門へのコンテンツの追加について、都市計画に関わらず、1つのシステムで追加が可能です。費用としては、どのような画面が必要か、特別な様式が必要か等で変わりますが、1つのコンテンツ追加で概ね 10 万円から 30 万円です。</p>
E 委員	<p>ハザードマップやバリアフリーマップ等異なるデータを追加する場合、データ変換等の時間がかかりますか。</p>
B 事業者	<p>提供されるデータの形式によります。例えば紙データの場合、紙データをもとにデータ入力していく作業が発生するので、相応の期間がかかります。一方、シェープデータのようなGISのフォーマットのデータであれば、提案書記載のとおり、システムの構築を含め1ヶ月程度あれば可能です。庁内用GISにシェープデータを取り込む機能が備わっており、そこに一旦取り込んで確認した上で、インターネットにアップロードするという仕組みを構成しています。</p>
B 委員	<p>他の自治体から具体的にどのような要望を受けていますか。また、提案にあるグーグルマップは、都市計画情報提供サービスの利便性向上の観点からどのような利用場面を想定していますか。</p>
B 事業者	<p>要望としては、イベント時のみ公開する期間限定コンテンツの整備や、愛知県日進市で行っているバスの動態管理が挙げられます。バスの動態管理については、定期的バージョンアップではなく、自治体独自の特別なカスタマイズをした事例になりますが、スマートフォンのGPSの位置情報を用いて、バスの位置、ルートを市民に公開しています。</p> <p>またグーグルマップに関して、都市計画情報提供サービスは業者が確認することが多く、グーグルマップの利便性が直接的に大きな効果をもたらすわけではありません。ただ、航空写真、ストリートビュー、ルート検索、3D機能により一般ユーザーが普段から親しみある地図サイトと同じ感覚で使用することができます。</p>
C 委員	<p>区役所には用途地域等の都市計画を確認に来る方がたくさんいます。B事業者の</p>

B 事業者	<p>今回の提案では、来庁者向けのシステムが読み取れません。来庁者に対して、どのようなシステムを用意できるか、来庁者向けシステムのコンセプト・提案内容を説明してください。</p> <p>他区での実績として、今回構築する公開GISが確認できるパソコンを窓口置くことで、来庁者が職員に問い合わせする前に、インターネット配信されている公開GISを確認できるようにしています。そうすることで、次回以降は区役所に来庁せずに自宅で確認できることを伝えられます。</p>
C 委員	<p>来庁者はたくさんいるので、操作のしやすさは特に配慮が必要です。窓口用ならではの操作性について加味したサービスがあれば教えてください。</p>
B 事業者	<p>窓口用のシステムと今回想定している公開用のGISに特別な差異は設けていません。地図をクリックすれば簡単に地図と属性が確認できる、画面に表示され簡単に印刷できるシステムなので、窓口においても簡単な操作を実現できると考えています。</p>
A 委員	<p>デモンストレーションを見ていると、とても軽やかに動いていましたが、データ量を減らす等の工夫をされているのですか。</p>
B 事業者	<p>データが一番重くなる要因は背景図です。背景に表示している建物や道路の頂点数、図形数がデータ量として膨大になります。本システムでは背景図をタイル画像として配信しています。サーバーの仕組みとしては、GISのデータから絵を作るのではなく、あらかじめ作成しているタイルの絵を配信する仕組みとなっています。もう1つに、背景にグーグルを選択することができます。グーグルのサーバーに依存することになり、動作が早くなります。</p>
A 委員 B 事業者	<p>全国の自治体でシステムを運用する上で、システムダウンの経験はありますか。システムのダウンについて、3.11の東日本大震災の際は繋がりがづらくなりました。東京都の防災マップについては、震災前は別事業者が担当していましたが、震災時になかなかアクセスできなかったことを踏まえて、現在ではB事業者が担当しています。東京都で採用している方式としては、一部グーグルマップも使用しています。グーグルの特徴として、アクセス集中時、バックボーンと言われるクラウド環境を増やすことができます。何か起きたときの拡張性として、クラウド環境は大きなものを持っています。今回のシステム構築時、どれくらいのアクセスを想定するかは別に相談したいと思いますが、そのようなことにも対応しています。</p>
事務局	<p>質問は以上とします。B事業者の審査はこれで終了です。</p> <p>(採点表回収 事務局集計)</p>
委員長 事務局	<p>4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 次第4について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料4について説明します。集計した結果、第二次審査の評価点について、A事業者200点満点中137点、B事業者158点です。第一次審査と合わせた総合結果は、A事業者1080点満点中802点、B事業者859点です。</p>
委員長 B 委員	<p>各委員、講評をお願いします。</p> <p>A事業者は都市整備局を担当する等の実績がありますが、バージョンアップや利便性の向上について、こちらの期待したことに対しての回答が不十分でした。一</p>

C委員	<p>方、B事業者は区民サービス等利便性の向上、更新についても具体的な提案があり分かりやすかったです。そこがA事業者とB事業者の差となりました。</p> <p>B事業者の優位性が高かったです。A事業者は様々な拡張性があるという説明をしているものの、トップ画面にアプリが並んでいるだけのように見受けられました。地図に踏み込んだところから、色々なデータを引き出せるネットワークが確立されていない印象を受けました。B事業者については、地図を切り替えて様々なものをさらに引き出すことができる、その操作性の高さやサービス性の高さを評価しています。</p>
D委員	<p>B事業者により高い点数をつけました。まず、A事業者について、実績がある割に提案内容が少なくやや寂しい点と、質疑応答の受け答えでは聞いている内容に対する回答が、ややピントが外れている印象を受けました。B事業者について一番印象に残っているのがシステムの操作性です。デモンストレーションの際、A事業者が遅かったのも、パソコンのスペック等の問題かと思いましたが、B事業者のスピードを目の当たりにして、すごく良いと評価しました。B事業者の実績60件はA事業者の実績200件に比べて少ないですが、色々な提案が今後期待できます。実際に進める上では、今回初めてということで、何とも言えない部分はありますが、期待できると思います。</p>
E委員	<p>B事業者をより高く評価しました。A事業者は実績を含め、機能面、安全面でも大きな問題はありません。B事業者は操作性、特に自由に縮尺を変えられることが良かったです。利用者の側に立つと、B事業者のように操作性が良いほうがストレスなく使用できると考えました。</p>
A委員	<p>B事業者をより高く評価しました。A事業者はデータ移行がないということが強みのようでしたが、システムが無駄に重く、既存のシステムに手を入れたくないという印象を受けました。B事業者は工数・手数を減らすことに注力しているようで、見積額も安い。システム自体も軽く動作しているので、修正の手数も少なくなるでしょう。そのようにチャレンジしているB事業者のほうが区の伸び代が増えると考えます。</p>
委員長	<p>他の委員の講評を踏まえ、修正はありますか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
委員長 事務局	<p>それでは点数を確定します。事務局から確定した点数を発表してください。</p> <p>最終的な総合評価として、A事業者が総得点802点、B事業者が859点となりました。</p>
委員長	<p>事務局の報告とおり、B事業者の点数が上回っていますので、当委員会として、B事業者を事業候補者に選定するというものでいいですか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
委員長	<p>ではB事業者を事業候補者として決定しました。</p>
事務局	<p>5 その他 (事務局より事務連絡)</p>
委員長	<p>6 閉会 (閉会の挨拶)</p>